



殺虫剤

脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤

サンケイ **ダブルシューター™ SE**

農林水産省登録 第24054号

性状：淡黄色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)

危険物：第四類第四石油類

有効年限：4年

包装：500ml×20

有効成分：脂肪酸グリセリド・・・・・・・・・・75.0%
スピノサド（化管法第1種）・・・・5.0%

殺虫剤分類 一, 5

TM：コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標です。

特長

- アザミウマ類・コナジラミ類・ハダニ類・ハモグリバエ類の同時防除が可能です。
- コナジラミ類の全生育ステージ（卵・幼虫・成虫）に優れた効果を発揮します。
- 他薬剤に対する感受性が低下したハダニ類にも有効です。
- 有効成分（スピノサド・脂肪酸グリセリド）単独使用では低活性の害虫も2成分の相乗効果で優れた活性と安定した効果を示します（コナジラミ類、ハダニ類）。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	脂肪酸 グリセリドを 含む農業の 総使用回数	スピノサドを 含む農業の 総使用回数
なす	ハダニ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類 オオタバコガ	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
ピーマン及び とうがらし類	ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類 オオタバコガ	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
トマト ミニトマト	ハダニ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類 オオタバコガ トマトキバガ	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
きゅうり メロン	ハダニ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類 ウリノメイガ	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
すいか	ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類 オオタバコガ	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
アスパラガス	ハダニ類 アザミウマ類	1000倍	100～500ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
いちご	ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	—	2回以内
鱗茎類 (たまねぎ、 にら(花茎) を除く)	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ	1000倍	100～300ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	—	3回以内
たまねぎ	シロイチモジヨトウ アザミウマ類 ネギハモグリバエ	1000倍 10倍	100～300ℓ 2ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布 無人航空機 による散布	—	3回以内
はくさい	ヨトウムシ	1000倍	100～300ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	—	4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)
豆類 (未成熟)	アザミウマ類 ハモグリバエ類	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	—	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	脂肪酸 グリセリドを 含む農薬の 総使用回数	スピノサドを 含む農薬の 総使用回数
キャベツ	アザミウマ類 ヨトウムシ	1000倍	100～300ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	－	4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)
ブロッコリー	アザミウマ類	1000倍	100～300ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	－	4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)
花き類・観葉植物	ハダニ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	1000倍	100～300ℓ	発生初期	2回以内	散布	－	2回以内

作物名	適用場所	適用 病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	脂肪酸 グリセリドを 含む農薬の 総使用回数	スピノサドを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり アスパラガス	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	アザミウマ類	250mℓ/10a	10ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	常温煙霧	－	2回以内

使用上の注意事項

- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 散布の際は、葉裏等に散布むらを生じないようにていねいに散布してください。
- ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意事項を守ってください。
 - 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。
 - 特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
 - 煙霧が直接植物体に当たると葉や果実に汚れを生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が作物体に直接当たらないよう措置をとってください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 散布は各散布機種に従って実施してください。
 - 散布に当たっては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
 - 作業終了後は次の項目を守ってください。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - ・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- キャブタンを含む農薬またはアゾキシストロピンを含む農薬との同時施用もしくは近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 花き類・観葉植物に使用する場合は、品種、栽培条件等により花卉、苞、葉に薬害を生じる場合があるので、事前に安全を確認して使用してください。特に結露期以降の散布は注意してください。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等での使用をさけてください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

水産動植物に係る注意事項

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、低温な場所に密栓して保管してください。